

あたらしい地図を描く——「at」の船出に

新連載

革命と反復

柄谷行人

世界資本主義はいま、「新帝国主義」の段階に入った。「トランスクリテイク」以降の新展開を告げる、待望の連載、スタート!

特別インタビュー

生き延びるための思想

上野千鶴子

フミニズム／社会学を常に更新する著者を、いまとらえている「問題系」は何か? この国の病理を斬る、上野節が冴えわたる!

特集

グローバリズムを遠く離れて

あたらしい何かが、始まろうとしている。グローバリズムという怪物が全てを流し尽くした後の、あたらしい希望の回路を求める試みが。市民の非営利バンク、音楽、映画、民衆交易——さまざまな場所で開催された試行錯誤の「未来」、四つのスケッチ。



特集 1

未来バンク、そして ap bank——カネを用いた「市民活動」の可能性

田中優

市民がバンクを持つことは、人権の重要な一つだ——話題の「ap bank」「未来バンク」を賣く思想を、当事者の場所から熱く語る。

特集 2

「コミュニティシネマ」
「上映」の場からの〈映画革命〉

岩崎ゆう子に聞く

この国の映画上映システムをラディカルに変革する「コミュニティシネマ」の示すものは——川崎発、ドイツ経由の、多くの出会いが生んだ軌跡。

特集 3

オルター・トレード ジャパン、
「民衆交易」の初志と未来

堀田正彦

フイリレン・ネグロスで、「バナナの出会い」から十六年。いま民衆交易を牽引する稀有のリーダーが構想する、明日の「南北共生」、新しい挑戦。

特集 4

フェア・トレードは未来をひらく魔法の杖か?
イギリスから見た成果とジレンマ

市橋秀夫

日本とは比較にならないほど社会的地位のあるイギリスのフェア・トレード、その現状と課題。

緊急報告

スリランカ、戦禍と天災に抗う人びと
困窮の民を選んだ津波と和平・復興への道

中村尚司

二〇〇四年末、アジアを襲ったスマトラ沖地震。特に被害甚大だったスリランカで、民族抗争が複雑に絡み、何が起きていたのか——交流四十年の経済学者が描く、第二級のレポート!

対話

24時間「接続」社会から脱出する方法
ニート・竹島・ホリエモン騒動から改憲策動の現在へ

吉岡忍×吉田司

改憲を画策する「国民投票法案」上程までカウントダウンとなった、この国の状況はいつどうなっているのか? 抜群の論客二人が奇烈痛快に説く、日本の「いま」!

Essay

グリーンコップとネグロスの連帯の原点について

行岡良治

街づくり夢基金について

和田千聲

ネグロス社会は静かに変わろうとしている

秋山真兄

デザイン覚書 0 点の時代

鈴木一誌

「at」0号に書いた／語った人たち

100

編集後記・次号予告

101

写真・図版提供、協力
田中優、足温ネット、@pep 運営事務局、
エース・ジャパン、オルター・トレード・ジャパン、
アジア太平洋資料センター ほか